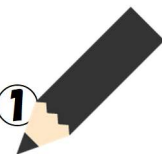




自分なりの方法、ある？

学習進路だより

1月号①



勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！（お悩み相談も！）今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・問題集の周回を除く)

①教科書・ノート活用

- ・教科書を中心に学習する
- ・大事な単語をマーカーで引く
- ・重要語句は赤で書く（見やすく）
- ・ノートにまとめる
- ・教科書の太字を短くまとめる
- ・授業の内容を思い出す
- ・ノートはきれいにまとめすぎない
- ・付箋にメモする

☆太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！
 ☆思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのはよい方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。
 ☆きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- ・寝る前にやる
- ・短時間で繰り返しやる（10分×3回など）
- ・空き時間にアプリを活用
- ・オレンジペンと赤シート活用
- ・英単語は読んで書くを繰り返す
- ・英単語は英文とセットで覚える（例：I play baseball.）
- ・苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- ・知識と知識を結びつけながら読む
- ・和訳&英訳どちらも完璧にする

☆寝る前に覚えて朝チェック、は定番！ ☆音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。
 ☆空き時間の有効活用もいいですね。 ☆英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- ・インプット3、アウトプット7の割合
- ・声に出して覚える・復習する
- ・用語の意味や文法の説明を話す（口パク可）
- ・授業内容をひたすら書き出す
- ・教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

☆アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！ ☆頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- ・苦手な教科・分野は徹底的に解く
- ・苦手なところは先生や友達に聞く
- ・基礎を多めに学習する
- ・わからないところを徹底的に復習
- ・間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- ・毎日少しずつ単語の学習・復習
- ・「覚えるために学習する」意識を持つ
- ・わかるところを伸ばす

☆苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやっつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切ですよ。
 ☆間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。
 ☆応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。 ☆解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！
 ☆「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習(練習)の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

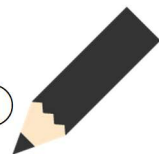
◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが(テストを超えて)後々効いてきます。◆(何らかの事情で)何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題(提出すべき課題に含まれているはず)を一通り解いて苦手&その理由を明らかにし、②順次つづしていく、のがよいでしょう。



自分なりの方法、ある？

学習進路だより

1月号①



勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！（お悩み相談も！）今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・周回を除く)

①教科書・ノート活用

- ・教科書を中心に学習する
- ・大事な単語をマーカーで引く
- ・重要語句は赤で書く（見やすく）
- ・ノートにまとめる
- ・教科書の太字を短くまとめる
- ・授業の内容を思い出す
- ・ノートはきれいにまとめすぎない
- ・付箋にメモする

☆太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！

☆思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのは良い方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。

☆きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- ・寝る前にやる
- ・短時間で繰り返しやる（10分×3回など）
- ・空き時間にアプリを活用
- ・オレンジペンと赤シート活用
- ・英単語は読んで書くを繰り返す
- ・英単語は英文とセットで覚える（例：I play baseball.）
- ・苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- ・知識と知識を結びつけながら読む
- ・和訳&英訳どちらも完璧にする

☆寝る前に覚えて朝チェック、は定番！

☆音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。

☆空き時間の有効活用もいいですね。

☆英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- ・声に出して覚える・復習する
- ・インプット3、アウトプット7の割合
- ・授業内容をひたすら書き出す
- ・用語の意味や文法の説明を話す（口パク可）
- ・教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

☆アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！

☆頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- ・苦手な教科・分野は徹底的に解く
- ・苦手なところは先生や友達に聞く
- ・基礎を多めに学習する
- ・わからないところを徹底的に復習
- ・間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- ・毎日少しずつ単語の学習・復習
- ・「覚えるために学習する」意識を持つ
- ・わかるところを伸ばす

☆苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやっつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切です。

☆間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。

☆応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。

☆解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！

☆「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習（練習）の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが(テストを超えて)後々効いてきます。◆(何らかの事情で)何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題(提出すべき課題に含まれているはず)を一通り解いて苦手&その理由を明らかにし、②順次つづしていく、のがよいでしょう。

勉強法の工夫を共有するよ！(1)学習/インプット方法 の巻

新年いかがお過ごしですか。学推や学年末テストの準備をしていますか。中間テストの振り返りで、テストのための学習時間について聞いたところ、十分だったと「思わない」人が大多数でした。学年末に向けて、計画を立てて動きましょう！ということで、みなさんから募集した勉強の工夫を大公開！（お悩み相談も！）今回は(1)学習方法・インプット方法です。

Check!

01

学習方法・インプット方法の工夫いろいろ(演習・周回を除く)

①教科書・ノート活用

- ・教科書を中心に学習する
- ・大事な単語をマーカーで引く
- ・重要語句は赤で書く（見やすく）
- ・ノートにまとめる
- ・教科書の太字を短くまとめる
- ・授業の内容を思い出す
- ・ノートはきれいにまとめすぎない
- ・付箋にメモする

☆太字をただ書き写しているわけではなく、それについて自分の言葉で短くまとめている、ということだと思います。いいですね！

☆思い出したことを整理して、足りないところを教科書で復習して補うのは良い方法ですね。「思い出す」ひと手間が頭を鍛えてくれます。

☆きれいなノートを作ることは勉強の目的ではありません。勉強のゴールは「わかる」「できる」状態になること。演習が大切です！

②単語・暗記の工夫

- ・寝る前にやる
- ・短時間で繰り返しやる（10分×3回など）
- ・空き時間にアプリを活用
- ・オレンジペンと赤シート活用
- ・英単語は読んで書くを繰り返す
- ・英単語は英文とセットで覚える（例：I play baseball.）
- ・苦手な漢字は意味と一緒に練習する
- ・知識と知識を結びつけながら読む
- ・和訳&英訳どちらも完璧にする

☆寝る前に覚えて朝チェック、は定番！

☆音読しながら書くのも大事。音声と文字の関係を考えながら書くと、パターンが見えてきます。

☆空き時間の有効活用もいいですね。

☆英単語も漢字も、例文で覚えれば結びつきやすいです。使い方もわかって一石二鳥！

③声・アウトプットの活用

- ・声に出して覚える・復習する
- ・インプット3、アウトプット7の割合
- ・授業内容をひたすら書き出す
- ・用語の意味や文法の説明を話す（口パク可）
- ・教科書などを見ずに頭の中で答えを作る

☆アウトプットは最重要。思い出して書く、口に出す、話してみる！

☆頭で考えるだけだと曖昧になりがち。最後は必ず紙に書いて確認を。

④復習・弱点克服

- ・苦手な教科・分野は徹底的に解く
- ・苦手なところは先生や友達に聞く
- ・基礎を多めに学習する
- ・わからないところを徹底的に復習
- ・間違えた問題はすぐに教科書を見て復習
- ・毎日少しずつ単語の学習・復習
- ・「覚えるために学習する」意識を持つ
- ・わかるところを伸ばす

☆苦手な教科は、好きな教科でサンドイッチしたり最初にやっつけたりして、まずは触れる量を単純に増やすのも大切です。

☆間違えた理由をどれだけきちんと分析できるかはとても大事。分析でつまずく人は、その段階から友達や先生の助けを借りよう。

☆応用問題が苦手な人は基礎がしっかりしていないのかも。段階的に進めていこう。

☆解答後、答え合わせと分析はすぐにやる！

☆「スピードを高めるため」「解き方を身に付けるため」「英語で話せるようになるため」など、学習（練習）の目的が明確だと効果アップ！

Check!

02

(相談)試験範囲が提示されても、どこから手を付けたらいいのか……

◆どの教科でも、普段から自学で演習をこなして苦手なところを明確にし、改善をつづけていれば、範囲提示後の2週間の計画は立てやすいはず。「やってるけど苦手が多すぎる！」という人は、まず基礎基本から確実にすべし。応用問題も比較的易しいものから取り組み、「基礎基本を使って解ける」という体験・実感を多く積んでください。それが(テストを超えて)後々効いてきます。◆(何らかの事情で)何も手を付けられていないときには、①最初の数日で基礎的な問題(提出すべき課題に含まれているはず)を一通り解いて苦手&その理由を明らかにし、②順次つづしていく、のがよいでしょう。